

榛原総合病院 だより 12

2021

第194号

●●●●●●●●●● 年末年始の診療体制 ●●●●●●●●●●

12月30日(木)は、内科・口腔外科・小児科・耳鼻咽喉科は診療を行います。その他の科は、**休診となります。**また、12月31日(金)から令和4年1月3日(月)までは、全科休診(小児科除く)となります。新年は1月4日(火)から通常診療を開始します。

休診日は救急対応となりますが、医師交代制のため各科の専門医師ではない場合がありますのでご了承ください。

<年末年始の小児科救急> 9:00~12:00 (受付 11:30 まで)

12月31日、1月1日 金医師担当 1月2日、3日 宮城医師担当



●●●●●●●●●● 入院患者様への面会について ●●●●●●●●●●

先月から入院患者様への面会を条件付きで再開しましたが、感染対策を講じての面会のため、1日にお受けできる人数に限りがあり、ご希望される日に面会することが出来ない場合がございます。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

ドクターからのメッセージ

『熱性けいれん』について

小児科 宮城 佳史 (みやぎ よしふみ)



熱性けいれんは日本では有病率が7~11%と頻度の多い小児期の有熱性発作性疾患です。主に生後6か月から5歳までにおこる、発熱時に短時間の眼球上転・四肢に左右差のないけいれん発作が単回のみ起こることを特徴とする単純性熱性けいれんが大半を占めますが、左右差をみとめるもの・同一発熱内に複数回の発作を認めるもの・15分以上続くものなど非典型的な特徴を示す複雑性熱性けいれんも存在します。

小児科では日常の診療にあたり、多くの熱性けいれんの患者様の対応をさせていただいています。お子さんが突然のけいれん発作を起こし、救急車で来院される場合も少なくありません。前述した単純性熱性けいれんであれば大きな不安を抱くことはありませんが、後述した複雑性熱性けいれんであれば、原因検索のため入院を要したり、けいれんを止めるために治療を行う場合があります。

特に、緊急性を伴うのは、5分以内で収まらないけいれん発作です。医療機関で治療をうけないと発作が止まらない場合が存在するので、その場合には救急車で速やかな搬送を認識していただけたらと思います。ご不明な点があれば、お気軽にご相談ください。

●●●●●●●●●● ボランティア連絡協議会活動報告 ●●●●●●●●●●

10月8日(金) 牧之原市赤十字奉仕団の皆さん (60名)

ありがとうございました!

(中庭・玄関ロータリー・構内駐車場の草取り、南3階花壇の整備)

職員を募集します(栄養科/調理師) ★詳細につきましては担当までお問い合わせください。

榛原総合病院栄養科 担当: 佐藤 電話 0548-22-9313(直通) お気軽にお電話ください!

<おねがい> 受診の際には、必ず『おくすり手帳』をご持参ください。

榛原総合病院の理念

❖生命を安心して預けられる病院

❖健康と生活を守る病院